

第1節 上伊那郡の水辺環境

上伊那郡には魚の生息する河川、湖、池などが多く存在し、それぞれの標高、水温、水量、流速、河床など魚が棲む環境条件は複雑に異なっています。

1 河川 (1)天竜川

諏訪湖から流れ出た天竜川は、上伊那郡のほぼ中央を南下してやがて太平洋に注ぐ大河川です。比較的傾斜がきつく、瀬となっている部分が多く見られますが、途中に建設されたダム（大久保ダム・吉瀬ダム）や取水堰をはじめ屈曲部には大小さまざまな湛水域や淵なども存在して環境を複雑にしています。途中で中央アルプスや南アルプスを源とする多くの支流が流入することにより、この川は水量を増やすと同時に水温を下げたり水質を浄化したりして環境が変わっていきます。



(2)西にそびえる中央アルプスと東に連なる南アルプスの斜面から、多数の支流が天竜川に流れ込んでいます。その上流部は滝や急流や大きな淵が続く谷となっています。平野部に入ると滝はなくなり大部分は流れが緩やかな瀬となりますが、場所によっては堰堤とその下にできた淵などが連続しています。天竜川と合流する付近には草が繁茂する両岸があったり砂や泥の川底があったりして、魚たちにえさ場や隠

れ場を提供しています。また、上流部に建設された大きなダムによって大量の水が溜まり、止水部に棲息する魚たちにとって絶好の湖となっています。

2 池

図1 上伊那郡の主な水辺環境



郡内には観光用もしくは灌漑用の池が人工的に造られていて、川とは違った魚社会が見られます。飯島町の千人塚、駒ヶ根市の馬見塚公園、辰野町小野地籍の灌漑用ため池が有名です。

小野の灌漑用堤



3 農業用水路

農業用水路には草が繁茂し川底には泥や砂がたまっているところが多く、底に棲む魚たちにとって絶好の場を提供しています。